

令和2年度

運営に関する計画・自己評価（最終評価）



。

令和3年3月

大阪市立塩草立葉小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断できる子どもを育てる」のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。子どもが健やかに成長し、心豊かに生きるため、学力や体力とともに、基本的な生活習慣、自尊感情などをトータルにはぐくむよう、全教育活動を通して取り組んでいる。保護者や児童アンケート等では、教育活動に対して肯定的な回答がほとんどで、取り組みの成果があらわれている。今後も、家庭、地域と連携して安全な社会の実現と学力・体力の向上に努めていく。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

※平成28年度⇒平成29年度⇒平成30年度⇒令和元年度⇒**令和2年度**

＜全国学力・学習状況調査（6年）＞ 令和2年度は中止

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえ
ば、当てはまる）」と答える児童の割合 ※74%⇒67%⇒84%⇒69%⇒**中止**

＜大阪市小学校学力経年調査（3年以上）＞ 1月に実施（結果は3月中旬に届く。自校集計結果）

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえ
ば、当てはまる」と答える児童の割合 ※73%⇒76%⇒81%⇒83%⇒**72%**

※自尊感情をさらに育成する。

○「朝食は毎日食べますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える
児童の割合 ※22%⇒20%⇒10%⇒10%⇒**10%**

○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくし
ていない」と答える児童の割合 ※24%⇒22%⇒21%⇒23%⇒**29%**

○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったく
していない」と答える児童の割合 ※14%⇒13%⇒14%⇒10%⇒**16%**

○「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、
当てはまる」と答える児童の割合 ※93%⇒93%⇒93%⇒95%⇒**93%**

＜保護者アンケート（全学年）より＞ 1月に実施

○「学校は、人権を大切にする教育に努めている」の項目で、「当てはまる」「やや当て
はまる」と答える保護者の割合 ※85%⇒89%⇒86%⇒88%⇒**93%**

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上】

＜全国学力・学習状況調査（6年生）より＞

○正答率が大阪市平均、全国平均を上回った問題

※令和2年度は、中止

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大阪市平均以上	国語B、算数A・B	国語A・B、算数A・B	算数A・B	なし
全国平均以上	算数A	算数A	算数A・B	なし

＜大阪市小学校学力経年調査より＞ 1月実施分を自校で集計したもの

- 「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合

※16%⇒13%⇒16%⇒15%⇒21%

※学習習慣をさらに定着させる。

- 全体の標準化得点

※104.0⇒104.0⇒100.5⇒101.0⇒結果まだ

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

※76%⇒82%⇒80%⇒80%⇒66%

＜その他＞

- 近年、渡日などで編入（転入）する外国人児童が急増しており、日本語指導が必要である。生活言語はもとより、学習言語に支障が生じることが多く、継続的な支援が課題である。

※7人⇒12人⇒10人⇒11人⇒11人

※母語：中国、韓国・朝鮮、タガログ、ベトナム、ウクライナ、モンゴル

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上】

＜全国体力・運動能力、運動習慣等調査より＞5年生 今年度は中止

- 大阪市平均を上回った種目数（男・女） ※男・女 1・4⇒7・4⇒1・5⇒2・3⇒中止

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

※男・女 80%・75%⇒80%・72%⇒93%・95%⇒87%・85%⇒中止

＜令和2年度より新校舎を使用＞

- 運動場の狭隘化により、日常的、計画的な体力づくりが必要である。

【中期目標】（平成29年度から令和2年度までの4年間で達成をめざす成果目標）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和2年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度（73%）より向上させる。

※73%⇒76%⇒81%⇒83%⇒72%

- 令和2年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学年に応じて、子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を平成28年度（85%）より向上させる。

※85%⇒89%⇒86%⇒88%⇒93%

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和2年度の大阪市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合を平成28年度（16%）より減少させる。

※16%⇒13%⇒16%⇒15%⇒21%

- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を平成28年度（男子80%、女子75%）より向上させる。

※男・女 80%・75%⇒80%・72%⇒93%・95%⇒87%・85%⇒中止

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）（大阪市教育局が設定）

令和元年度末⇒**令和2年度末**

○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。
100%⇒100%

○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目にて、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
95%⇒93%

○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
前年度と同数⇒前年度より減少

○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
前年度より減少⇒前年度と同じ

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

※令和2年度の小学校学力経年調査結果は、3月中旬以降に届く

○大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
4年 2.7ポイント増。5年 0.7ポイント増。6年 4.4ポイント増

○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
4年 8.3ポイント減。5年 4.3ポイント減。6年 8.4ポイント減

○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。
4年 2.8ポイント増。5年 4.6ポイント増。6年 29.2ポイント増

○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
80%（前年度と同じ）

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、男女とも前年度より増加させる。
男87%（6%減少）、女85%（10%減少）

※大阪市小学校学力経年調査は、令和3年1月に延期

3 本年度の自己評価結果の総括

新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休業が続き、学校再開後も教育活動に制約がある中で、先行きが見通せない1年であったが、教職員が一丸となって子どもたちを育ててきた。全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止、大阪市小学校学力経年調査が1月に延期（調査結果が届くのは3月中旬以降）となったため、全市共通目標の達成状況は定量的には測りにくい。大阪市小学校学力経年調査での児童質問紙調査の自校集計・分析や児童アンケート、保護者アンケートなどを通じて、一定の前進をしていることが明らかになった。さらに、目標別シートにおけるさまざまな取組内容からも、本校の教育活動が計画的かつ柔軟にすすんできたといえる。

令和3年度の全市共通目標は、今年度と同じである。教育振興基本計画最終年度（予定）であり、引き続き、経年的に本校の状況を把握しながら、教育活動を推進したい。

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】 全市共通目標(小学校) ○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。→ <u>調査後の継続的対応により把握した事象については解消したと考える。</u> ○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。 <u>当てはまる47% どちらかといえば当てはまる46% 合計93%</u> ○年度末の校内調査において暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。 ----- 指標 ・年1回以上、「学校いじめ防止基本方針」を見直す。→○ ・「いじめについて考える日」に、全学級でいじめ防止の取組を行う。→○ ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行う。→○ ・月1回以上、全教職員で児童の実態について共通理解する。→○ ・年1回以上、「学校安心ルール」を見直し、活用する。→○ ・区役所(子どもサポートネット、子育て支援室、要保護児童対策地域協議会等)、こども相談センター、SC、SSW、民生委員・児童委員等と連携する。○ ・全学年でスマホ・ケータイ等の情報モラル教育を行う。○ <u>対象2・3・4・5・6年</u> ・キャリアパスポート、スクリーニングシートを活用する。→○	B
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○人権尊重の教育を基盤とした教育活動を推進する。 指標 ・すべての教員が、年2回以上校外で行われる人権研修会に参加する。 ・人権教育実施計画(別紙参照)に基づいて、日常的、計画的に取り組む。○ ・年間10日以上遅刻する児童を前年度(令和元年度25名)より減少させる取り組みをする。 <u>(令和2年度26名…学級・学年・学校で個別指導・家庭への連絡)</u> ・正当な理由なく、3日以上連絡のつかない欠席児童を校内で共有する。○	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、「いじめについて考える日」に全校及び各学年・学級で啓発の取り組みを行った。 ・学期に1回いじめの実態調査を行った。 ・児童の実態の共通理解を新たにSKIP上に共有の場を作り、毎月行った。 ・関係諸機関とも連携し、教職員でチームを作り、課題のある児童に関わってきた。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育実施計画に元づいて、人権尊重の教育を基盤とした教育活動（集団育成、平和教育、特別支援教育など）を推進してきた。 ・コロナ禍の影響で、校外で行われる人権教育研修会が開催されておらず、全教員が2回以上参加することができなかったが、校内で人権教育研修会の場を設けた。
次年度への改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における感染防止策を実施し、人権教育研修を引き続き行う。 ・個別の支援が必要な児童への関わり方について、研修を進め、さらに理解を深める。 ・児童の実態の理解を月に1回SKIPを使って引き続き行う。また、全体での対応が必要な児童については、更に職員会議後の児童の共有の場を使って、全体で伝え合う。 ・登校しにくい児童が年々増加している。家庭の実態把握を関係諸機関と連携し行い、対応を今後も進める。 ・学校のきまり、規則について、児童・教職員で共有をして、認識を統一する。 ・学校からの連絡が伝わっていない家庭への対応を考え、繋がりをつくる。（懇談会や、家庭訪問を希望しない家庭へのアプローチ・子どもの姿や頑張っていることを伝える方法）

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標（小学校） ○大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○すべての子どもに学習習慣を定着させる。	B
指標 ・全学級で、週1回「朝の学習」を実施する。（読書、読み聞かせを含む） ・授業以外の学習機会を毎日設ける。（朝の学習、休み時間、放課後、英語モジュール、区役所まなび支援事業等） ・漢字検定をひとつの学年で実施する。（合格率7割以上）⇒合格率91％	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○教員の指導力向上をすすめる。	B
指標 ・すべての教員が、年1回以上研究授業を行う。 ・すべての教員が、年2回以上校外で行われる研修会に参加する。	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○渡日等の子どもへ必要な支援を行う。 ⇒外国人児童は、令和3年2月末現在で28人。 多い順に中国、韓国、ベトナム、フィリピン、モンゴル、インド。	B
指標 ・必要な子どもに、日本語指導協力者派遣事業やセンター校通級指導、浪速区日本語サポーターを活用する。 ・子ども一人ひとりの状況に合わせた課題を用意する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①多くの子どもに学習習慣を定着させようとする取組を行うことができた。

- ・全校朝会、児童集会がなかったこともあり、朝の時間を多く学習に充てることができた。
- ・朝の学習では、各学年の実態に応じて、読解や漢字、言葉の学習など国語科に関わる課題に取り組むことができた。また、全学年でブックトラックを活用し、読書環境を整えることができた。
- ・授業と朝の学習以外では、毎日の課題、放課後の個別指導や区役所まなび支援事業の活用、毎週火曜日と木曜日には全学年で英語モジュールに取り組むなど学びの機会を多く設けることができた。
- ・6年生は漢字検定を受検した。合格率は、91%。朝学や毎日の課題で漢字を読んだり書いたりしたことで、自信をもってテストに臨むことができた。

②教員の指導力向上を進める取組を、可能な範囲で進めることができた。

- ・研究教科である国語科では各学年で指導案を作成し、研究授業を行うことができた。
- ・新任研修、2年次研修では、研究授業を行った。（今年度は5年次研修、中堅研修は中止）
- ・学力向上推進指導員（高砂先生）に若手教員の授業づくりについて指導を受けた。また、国語科における本校の経年調査結果を踏まえた研修も行った。
- ・国語科、算数科のメンター研修を行った。

③渡日等の子どもには、学力向上のために様々な支援を行うことができた。

- ・校内では、同担が4名に日本語指導を行った。一人一人の状況に合わせた課題を用意し、取り組むことで、子どもたちは日本語の習得に努めることができた。
- ・各学級では、一人一人の状況にあった課題を用意し、ルビを振ったり、通訳機を活用したりして支援を行うことができた。
- ・5年生児童は大国小学校で日本語指導を受け、日本語の習得に努めることができた。

次年度への改善点

- ①今年度行うことができた朝の学習や放課後の個別指導、区役所まなび支援事業の活用を今後も続け、多くの子どもに学習習慣を定着できるようにする。
- ②今年度は研究授業の参観や研修への参加が難しい1年だった。研究授業を参観する人数を減らしたり、研究授業について振り返る時間を短時間にしたりすることで、次年度は研究授業を行うようにする。また、教育センター主催の研修だけに頼るのではなく、外部講師や本校の教員による研修を行い、研鑽を深めるようにする。
- ③今年度行うことができた支援（校内での日本語指導、個別課題、各学級での取り組みなど）を続けながら、学力向上のためのよりよい支援や方法について情報を集める。

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した C: 取り組んだが目標を達成できなかった	B: 目標どおりに達成した D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--	--

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○子どもの体力・運動能力向上のための取り組みをすすめる。	B
指標 ・体力向上週間を年2回以上実施する。 ・体力向上のための体操を月2回以上実施する。 ・外部講師による体育特別授業を年1回以上実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
・コロナ禍の中で、できる限りの取り組みになった。 (姿勢チェックの放送、体育での活動、4年生の夢授業、6年生のブレイクダンスなど)
次年度への改善点
・コロナ禍でもできる、姿勢体操や体力向上の取り組みを考えて、実施していく。 ・週1回、体育館をクラス単位で割り当てる。(みんな遊びなどに活用)

令和2年度（2020年度）人権教育実施計画

大阪市立塩草立葉小学校

【1】人権教育推進体制の組織

○人権教育部（校務分掌）

○人権教育推進委員会（校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年代表者）

- ・人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
- ・人権・同和教育の推進

○浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）

- ・専門部会
- ・新転任同和問題研修会

【2】人権教育の内容

○「集団育成」に関する事項

- ・学年・異学年間の学年での集団育成活動
- ・色別たてわり活動

（児童集会・塩草立葉ゲームフェスタ・卒業祝い集会等）

- ・保・幼・小・中との交流活動

※幼稚園・保育所との交流（昔遊び 1年生）1～2月

※難波中学校下3校交流

（中学校体育大会 6年・なこわ子ども人権文化祭 6年・部活動体験 6年 等）

- ・地区子ども会（集団登校・下校）

- ・フレンズ・カップ・オブ・ナニワ（10月18日）

※バレーボール、ソフトボール（一昨年度、ソフトボールからドッジボールへ変更）

※チーム編制から当日まで10回程度、放課後に練習する。

※対象者は、3～6年生の参加希望者

○「部落問題学習」に関する事項

- ・太鼓正の見学・「塩草立葉のリズム」練習 4年生 11～12月

○「特別支援教育」「高齢者問題」に関する事項

- ・難波支援学校との交流

※なんば祭（学芸会） 5年生 11月ごろ

※作品展見学 2年生 2月12日、4年生 2月13日

- ・障がい理解への取り組み（ゲストティーチャー）

視覚障がい（2年）、盲導犬（3年）、車いす（4年）、アイマスク（5年）

- ・特別支援学級児童の学力保障

- ・特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援

- ・高齢者（1年保護者）との交流活動 昔遊び交流 1～2月

- 「外国人教育」「国際理解」「多文化共生」に関する事項
 - ・となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
 - ・多文化理解への取り組み
 - ・「国際クラブ」の開設（昨年度3学期に開始 学期1回）
 - ・渡日児童への日本語指導ならびに支援
- 「平和教育」に関する事項
 - ・人権・平和の集い（7月課業中） 全学年
 - ・人権に関する作品制作 全学年
- 「性教育」に関する事項
 - ・性教育年間計画に基づいた学習実施
- 「学力保障」の取り組みについて
 - ・子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
 - ・1～6年生の「朝学習」（英語モジュール学習など）
 - ・必要に応じて夏季休業中の各学年による補習
- その他
 - ・人権ポスター（平和 5年） ※浪速区で人権展開催の場合は全学年

【3】人権研修・地域連携

- 人権・同和教育の研究・研修
- 各学級もしくは学年による人権教育実践報告会
- 「子どもの様子」報告 毎月職員会議後
- 特別支援教育全体会（年2回）
- 外国にルーツをもつ児童の実態把握
- 大阪市人権教育研究協議会（市人教）の活動参加
 - ・市人教大会・分科会報告 6月26日、27日
※本校からは、毎年実践報告を発表）
 - ・市人教夏期研究会 7月28日
 - ・浪速区人権教育講演会 9月9日
 - ・浪速区人権教育公開授業 12月
 - ・浪速区人権教育実践交流会 1月20日
- 浪速人権・同和教育推進協議会（浪速同推協）
 - ・各専門部会の研修会および新転任同和問題研修会への参加
- 浪速読み書き教室のボランティア講師（毎週金曜 夜）教員一人当たり年間2、3回
- 部落解放・人権教育夏期講座：高野山 8月19日（水）～21日（金）
- 全国人権・同和教育研究大会：新潟県上越市 10月31日（土）、11月1日（日）
- 浪速地区人権・同和教育研究集会（隔年：令和3年度実施）
- なにわ人権教育ネットワーク（人権ネット）の活動参加
- 浪速・西・港・大正人権展（12月） ※今年度は大正区で開催
 - ・児童の作品展（図工の作品・標語など）人権ポスター見学
 - ・人権展見学（浪速区での開催時）